

平成29年12月14日定例教授会議事抄録

出席者

梶屋所長

青山、大木、黒田、佐藤、菅、園田、高見澤、高橋、長澤、中島、名和、平勢、松田、真鍋、安富の各教授

池亀、額定其芳、藏本、小寺、鍾、塚本、馬場、古井、森本、米野の各准教授

海外渡航者

板倉教授

議事

11月16日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 資料P6のとおり3件
2. 各種研究助成等の募集について 資料P7のとおり2件

報告事項

3. 所長報告

梶屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 拡大入試監理委員会（11月21日）

資料P8に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

2) 未来社会協創推進本部（11月21日）

資料P9に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

3) 科所長会議（11月21日）

① 平成29年度理事等の分担

資料P11～13に基づき、平成29年11月16日付けで変更のあった理事等の分担について、説明があった。

② 2016年（第66回）学生生活実態調査の結果報告

資料P14～22に基づき、2016年（第66回）学生生活実態調査の結果の概要について報告があり、カリキュラムの満足度他、全体を一読いただきたいとの要請があった。

③ 若手研究者の国際展開事業

資料P23～46に基づき、若手研究者の国際展開事業の募集内容について説明があり、すでに事務から所内に周知済みであるが、今一度公募要領をご確認いただき、応募資格に該当する教員は活用願いたいと要請があった。

④ 契約事例集

資料P 4 7～5 4に基づき、契約事例集が作成されたとの報告があり、契約にはそれぞれルールがあることを理解のうえ本編も一読いただきたいとの要請があった。

4) 総長と研究所長・センター長代表者・医学部附属病院長との懇談（11月21日）
同会議での議事概要について報告があった。

5) 大学評価委員会（12月5日）

資料P 5 5に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

6) 拡大入試監理委員会（12月5日）

資料P 5 6～5 8に基づき、平成30年度大学入試センター試験（1月13日、14日）及び前期日程試験（2月25日、26日）の試験監督等の派遣者数が発表されたとの報告があり、試験関連業務の依頼が届いている教員は特に、試験当日に欠席することがないように体調管理等に十分留意願いたいとの要請があった。また、推薦入試に伴う入館制限等について報告があった。

7) 科所長会議（12月5日）

① 平成29年人事院勧告を踏まえた本学の対応方針

資料P 6 0～6 1に基づき、平成29年人事院勧告を踏まえた本学の対応方針について、説明があった。

② 役員及び職員の退職手当の改定

資料P 6 2に基づき、役員及び職員の退職手当の改定について、説明があった。

③ 「東日本大震災に関する救援・復興支援室」の設置についての全部改正等

平成30年度以降の東日本大震災に関する復興支援体制の見直しがあり、「東日本大震災に関する救援・復興支援室」の設置についての全部改正、他の災害復興支援にも対応できるよう学生ボランティアへの支援体制の変更等が行われるとの説明があった。

④ 平成29年度学生表彰「東京大学総長賞」の推薦募集

資料P 6 3～6 8に基づき、平成29年度学生表彰「東京大学総長賞」の推薦募集について説明があり、優れた課外活動や社会活動等を行った学生があれば、推薦願いたいとの要請があった。

⑤ 平成30年度体験活動プログラムに関する企画募集

資料P 6 9～7 5に基づき、平成30年度体験活動プログラムに関する企画を募集しているとの説明があり、企画のある方は応募願いたいとの要請があった。

⑥ 海外大学院留学説明会

資料P 7 6に基づき、海外大学院留学説明会の予定について説明があり、学生に周知願いたいとの要請があった。

⑦ 平成28事業年度財務レポート

回覧資料に基づき、平成28事業年度財務レポートの英文版が作成されたとの説明があった。

8) 予算委員会（12月5日）

資料P 7 7に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

9) 科所長会議（12月12日）

① シニア教授（仮称）制度の制定

資料P79～85に基づき、シニア教授（仮称）制度の制定が検討されていることについて、説明があった。

② 平成30年度（第91回）五月祭開催日程等

平成30年度（第91回）五月祭が5月19日（土）、20日（日）に予定されていること等について説明があった。

③ 働き方改革への対応のための関係規則の改訂方針案

資料P86～87に基づき、働き方改革への対応のための関係規則の改訂方針案について、説明があった。

④ 東京大学の加盟する大学連合の現状

資料P88～92に基づき、東京大学がAUAに設立メンバーとして加入したとの報告および東京大学が現在加盟している各大学連合の現状について説明があった。

⑤ 第2回東京大学技術発表会

資料P93～95に基づき、2月15日（木）、16日（金）に開催される第2回東京大学技術発表会について案内があった。

10) 予算委員会（12月12日）

資料P96に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

11) 教員の海外渡航について（報告）

資料P97のとおり4件を承認した旨報告があった。

12) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P98のとおり1件を承認した旨報告があった。

13) 平成31年度からの共同利用・共同研究拠点認定について

資料P99～108のとおり、文部科学省に新規認定の申請書を提出したとの報告があり、書面審査が通った場合の最終的な採否が判明するのは場合によっては平成30年度になる可能性があるとの説明があった。

14) その他

① 梶屋所長から、資料P109に基づき、全学自由研究ゼミナールのH30S Semester担当の米野准教授の講義題目が決まったこと、東文研では希望者を優先したうえ、着任日を基準に昇順で依頼することとしているとの説明があり、H30A Semesterは、藏本准教授、H31S以降は、希望者がいなければ平成30年4月1日採用予定の准教授が担当する予定になっているとの説明があった。

② 平成30年度のフランス社会科学高等研究院への派遣は松田教授、復旦大学へは安富教授とするとの報告があった。また、平成30年度以降の復旦大学への派遣は2名から1名となるとの補足説明があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

松田委員長より、

① 資料P 1 1 0～1 1 1に基づき平成29年度予算執行状況の報告があり、個人、委員会ともに適切な執行へ協力いただきたいとの要請があった。

② 資料P 1 1 2に基づき年度末における会計関連書類の提出期限について説明および期限厳守への協力要請があった。

③ 資料P 1 1 3～1 1 4に基づき、本部へ提出する業務達成基準申請書および業務実施計画書について説明があった。

2) インフラ委員会

安富委員長より、

① 事故防止のため正面玄関階段の工事を行う予定があるとの報告があった。

② PCB廃棄物の処理について、本研究所が有する廃棄物および処理費用について説明があった。

③ 研究室退去時の備品について、机・イス・書庫4本が揃った状態で退去いただきたいこと、保有していない等の事情で退去時に不足がある場合は退去前に事務申し出ていただきたいとの依頼があった。

3) 研究企画委員会

名和委員長より、

① 平成30年度の刊行物（紀要、叢刊、東洋文化）の刊行計画について説明があった。

② 資料P 1 1 5～1 2 6に基づき、平成30年度研究計画作成の依頼があった。

③ 資料P 1 2 7に基づき、研究会における写真撮影の担当等について整理をしたとの説明があり、併せて画像技術室へ撮影を依頼する場合はスケジュール調整があるため開催日の1週間前までには依頼を行ってほしいとの要請があった。

④ 産業医巡視の際に共同研究室で電気湯沸かしポットを一斉に使用すると配線に付加が掛かり危険であるとの指摘を受け、その防止のため、掲示用の説明書を作成したとの報告があり、併せて受入れ教員から研究員にも電気湯沸かしポットの使用について注意を促してほしいとの依頼があった。

⑤ 刊行物に関する事務担当者が来年3月末に退職することに伴い、刊行物の出版作業を一部外部へ委託することを検討しているとの報告があり、これについて対応可能と思われる出版社や学会等の情報をお持ちの方は情報提供いただきたいとの要請があった。

藏本委員より、本日14時から大会議室で開催される藏本龍介准教授の着任研究会について案内があった

4) 情報・広報委員会

菅委員長より、

① 資料P 1 2 8～1 3 1に基づき、10月21日（土）に開催した秋の公開講座のアンケート結果について報告があった。

② 資料P 1 3 2に基づき、東文研の研究室で不用となったPCを廃棄する際の流

れについて説明があった。

5) 図書委員会

大木委員長より、大型コレクションの募集について推薦依頼があった。

中島委員より、資料P 133～134に基づき、東京大学アジア研究図書館規則が11月29日の図書行政商議会で承認されたとの報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長より、

① 平成29年度センター機関推進プロジェクトについて募集中であると説明があった。

② センター叢刊に2件応募があったとの報告があった。

③ 平成30年度漢籍整理長期研修について、例年通り実施予定であるとの説明があった。

7) GJS委員会

園田委員長より、

① 来年度のサマープログラムの実施にあたり、参加者の一部をアジア大学連盟(AUA: Asian Universities Alliance)を通じて受け入れ、併せて同連盟からの支援を受けることを検討していたが、同連盟からのプログラム実施条件が大きかけ離れていたため、同連盟との連携は難しくなったとの報告があった。

② GJSの活動の単位化を検討していたが、大学院学際情報学府・学際情報学専攻アジア情報社会コース(ITASIA)で単位化が認められることとなったとの報告があった。

③ 特任研究員(特定短時間勤務有期雇用)の候補者を選出したので、後程審議願いたいとの説明があった。

8) その他

特になし

5. その他

① 中島教授より、12月16日(土)、17日(日)に開催予定の本研究所と復旦大学文史研究院、プリンストン大学東アジア学部との学術交流コンソーシアム覚書に基づく国際学術会議について案内があった。

② 中島教授より、連携研究機構ヒューマンティーズセンターの運営委員会において、申請のあった公募研究の審議が行われ、池亀准教授の企画が採択されたとの報告があった。

③ 馬場准教授から、人文社会系ワーキンググループ(以下、人社WG)において検討されている英文エディターを本研究所の教員ポストで雇用することについて、経緯の説明および人社WGの提案内容の説明があった。これを受け種々意見交換が行われ、現時点で示された意見を人社WGへ伝えることとなった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

資料P 1 3 8～1 4 0のとおり 8 件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P 1 4 1～1 4 2のとおり 3 件の受入れが承認された。

8. 私学研修員の受け入れについて

① 榊屋教授より資料P 1 4 3～1 4 4および回覧資料に基づき説明があり、承認された。

② 長澤教授より資料P 1 4 5～1 4 6および回覧資料に基づき説明があり、承認された。

9. 特任研究員の採用について

榊屋所長より、回収資料に基づき、1 名の採用（新規）候補者について説明があり、承認された。

10. その他

特になし

以上